

4年ぶりに 上石原若宮八幡神社 例大祭が復活しました



9月17日の敬老の日に上石原若宮八幡神社で例大祭が行われました。当日は午後2時から、お神輿と太鼓、山車の巡行が行われ、青空の下、町内がたくさんの人達の笑顔であふれました。

4年ぶりの開催ということもあって、境内には子ども達の姿も多く、子ども神輿をかつぎ、山車を引っ張るその顔もみんな本当に楽しそうでした。

地域のすばらしい歴史と伝統が感じられた一日でした。



近藤勇 生誕地まつり

10月22日 (日)



10月1日には下石原八幡神社例大祭も4年ぶりに盛大に行われました。

今年も生誕地まつりが開催され、来場された皆さんから演武の披露にたくさんの拍手が送られていました。



ご挨拶される長友市長

第一部の催しが終わり、会場を西光寺から移して、講演会「近藤勇のふるさと」が行われました。講師は伊東成郎先生で、女性の方も大変多く参加され、近藤勇の生い立ちや人柄など普段聴けない話に熱心に耳を傾けていました。

編集後記

今年は4年ぶりという言葉にあふれた1年でした。

4年ぶりの開催、4年ぶりに実施など、至るところでその言葉を目にし、耳にしました。来年は、是非何かまた新しいものをみんなで生み出せるような年になればいいなと願っています。

情報広報部

祝 五中生が活躍しています。



季の花

「季(とき)の花」は第三小学校の校歌の一節です

広報誌 第57号
発行：第三小学校地区
まちづくり協議会
発行責任者：高橋一明
連絡先 042-481-7036
調布市協働推進課

西調布駅南口の整備に向けて



街づくり協議会で真剣に協議する皆さん

西調布駅の北口に都市計画道路とロータリー広場が完成して早いもので6年が過ぎました。

現在、引き続き駅南側の整備に向け、西調布駅周辺整備街づくり協議会の皆さん方が調布市と勉強会等を通して様々な協議を行っています。

事業の内容としては、西調布駅から品川通りまでの間における都市計画道路(約190m)の敷設及び駅前広場(約2,000㎡)の整備です。

この事業が目指す、西調布駅周辺の利便性の向上や安全で快適な道路空間の確保、また、防災上の向上や良好な都市景観の創出の実現が、西調布の新しい姿や発展に大きく寄与するものと思っています。

より住みよい街の実現に向けて、一日も早く整備が完了されることを期待したいと思います。

オープンハウスが開催

7/14(金)・15(土) 西調布駅南口

西調布駅利用者や周辺住民の方々にも南口やまちの将来像を理解いただきたいということで、調布市が駅の南側スペースに自由な意見交換の場、「オープンハウス」を開設しました。

道路の危険性やロータリー、バスの乗り入れなどにおける交通面での課題をはじめ、くつろげるスペースの設置など福祉面、さらには景観の向上や商店街の賑わいなどに向けた活性化への期待など、大変幅広い意見や要望が寄せられたということです。今後も開催されるということです、是非ご覧をいただければと思います。



幅広い年代の人が訪れ、展示資料を見ながら歓談をしていました

防災

いざという時に備えて

調布市防災教育の日（4月22日）に避難所開設訓練を実施しました



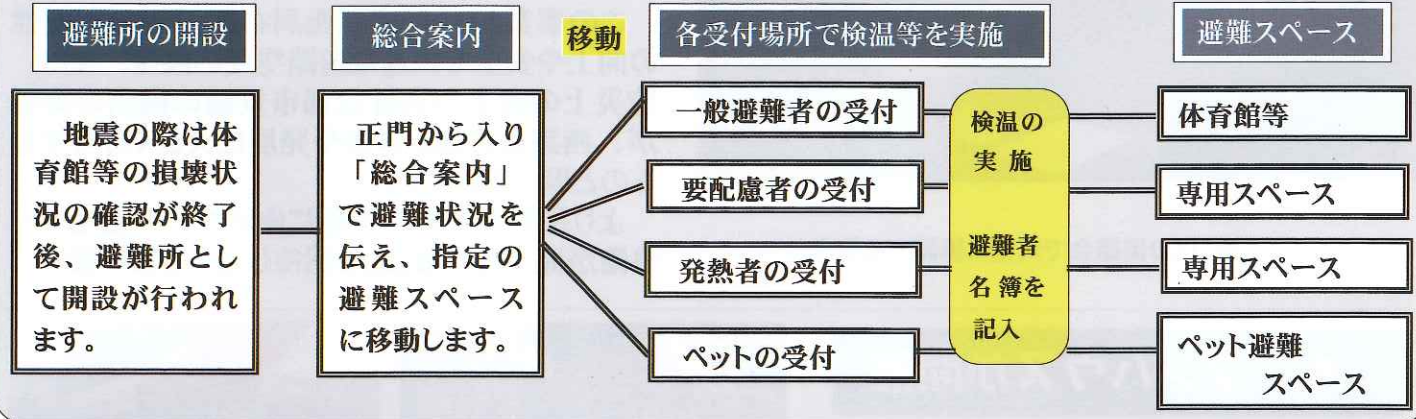
毎年4月に行われている調布市防災教育の日の地域訓練に、今年も三小地区まちづくり協議会のメンバーが参加し、避難所の開設運営にかかる訓練を実施しました。

訓練は、避難所での①受付体制 ②避難者の誘導 ③避難スペースの班に分かれ、それぞれ実施。訓練終了後、避難所初動要員である調布市の職員の皆さん方と問題点の把握や今後の対応策などについて話し合いを行いました。

避難所の体制については、新型コロナの感染拡大後、受付や対応がいろいろ検討されていますが、避難時には是非、お互い協力しあい、みんなが気持ちよく利用できるように心がけましょう。

避難時には校門脇に避難所総合案内所が設置されます

正門を入った所に「総合案内」が設置され、その人にあった避難スペースに誘導が行われます。あわてず、指定された避難スペースに移動し、受付を行って下さい。



第三小学校地区合同防災訓練を開催

10月7日（土）第三小学校校庭

今年は、地震発生を想定し、一時避難場所やまちかど集合場所への参集訓練を中心に実施。上石原や下石原の各自治会や福祉施設の皆さんがそれぞれ徒歩で避難所となる第三小学校に集合し、消防署等による訓練に参加しました。三小の児童の防災教育訓練と地域住民の防災訓練の合同訓練としての実施から、保護者の皆さんの姿も多く見られました。



集合した自治会や団体の皆さん方



はしご車による救助訓練



消防署と消防団による放水訓練



児童による煙体験や消火器訓練



燃焼体験訓練

設置場所を知っておくと安心です

AED

AEDの設置場所を知っていますか？

現在、調布市では159カ所の公共施設に197台のAED（小中学校には2台）を設置しており、病院等には、医師会に所属している医療機関53カ所に設置が行われています。（調布市のホームページ参照）

三小地域では、小・中学校、公民館、児童館、図書館、保育園、西調布体育館、地域福祉センター、学童クラブ、市営住宅に設置されていますが、西部地域福祉センターと上石原保育園については、外に設置されていることから、夜間等の利用も可能となっています。

また、二本松自治会では自治会独自で夜間も使えるAEDを設置されています。

24時間いつでも使用可能なAEDを設置しました / 二本松自治会

二本松自治会では、令和2年度に東京都から助成金（地域の底力発展事業助成金）の交付を受け、令和2年11月にAEDを購入、設置を行いました。

設置場所については、夜間・休日でも24時間利用ができること、多摩川サイクリングロードや多摩川河川敷周辺を利用する方達にも利用できる所ということで、二本松自治会法人会員である”SOGIサポートセンター”様（多摩川2-3-12）に依頼したところ快くお引き受け頂き、電源の要らない「屋外型AED収納ボックス」内にAED本体を収容のうえ、施設内の駐車場脇に設置いたしました。

合わせてAEDを使用しての応急救護講習会を開催しました。講師に調布消防署員をお迎えして「デモ機を使ったAEDの使い方」の講話を聴き、また「AED救命テントの設置方法」や「心肺蘇生」のDVD視聴等を自治会会員の皆さんと一緒に体験しました。

反省会での意見としては、「AEDの知識向上にはやはり使ってみないと中々理解出来ないが、AED講習会だと参加しにくい面がある。自治会のイベント時（多摩川クリーン作戦、バーベキュー大会等）に繰り返し体験できる機会を作っていくことが、知識向上や広報になるのではないか」との意見がありましたので、事業の取り組みとして継続していこうと思っています。どなたでもいざという時には直ぐに取りに行って使用して頂ければ幸いです。

